

T & D 保険グループ「平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」のポイント

[契約業績 (個人保険・個人年金保険)]

(単位 : 億円)

	3 社単純合算		太陽生命		大同生命		T & D フィナンシャル生命	
	当第 1 四半期	前年同期比	当第 1 四半期	前年同期比	当第 1 四半期	前年同期比	当第 1 四半期	前年同期比
新契約高	20,447	-	9,576	0.5%増	10,037	13.2%増	833	-
解約失効高 (解約失効率)	12,619 (-)	-	3,560 (2.21%)	1.0%減 0.15ポイント低下	7,936 (2.02%)	15.2%減 0.36ポイント低下	1,122 (3.58%)	-

- (注) 1. 新契約高には転換による純増加を含んでおります。
 2. 当第 1 四半期の解約失効率は、年換算しておりません。
 3. 3 社単純合算および T & D フィナンシャル生命の前年同期比は、前第 1 四半期の数値がないため、記載を省略しております。

(単位 : 億円)

	3 社単純合算		太陽生命		大同生命		T & D フィナンシャル生命	
	当第 1 四半期末	前年度末比	当第 1 四半期末	前年度末比	当第 1 四半期末	前年度末比	当第 1 四半期末	前年度末比
保有契約高	588,735	0.6%増	164,990	2.6%増	392,840	0.0%減	30,904	1.4%減

< 3 社単純合算 >

- ・新契約高は、2兆447億円となりました。
- ・解約失効高は、1兆2,619億円となりました。
- ・保有契約高は、58兆8,735億円となり、前年度末から0.6%増加しております。

太陽生命

- ・新契約高は、9,576億円、前年同期比0.5%の増加(前第1四半期は同61.9%増)。
- ・解約失効高は、3,560億円、前年同期比1.0%の減少。
- ・保有契約高は、16兆4,990億円、前年度末からは、4,211億円、2.6%の増加。
うち、個人保険の保有契約高は、12兆693億円、前年度末から4,913億円、4.2%の増加。
- ・新契約高および保有契約高の増加は、「太陽生命の保険組曲」が昨年の発売以来好調に推移していることが主因で、当第1四半期の「太陽生命の保険組曲」の新契約件数は4.8万件(前年同期比1.3万件増)、新契約高は8,292億円(前年同期比1,508億円増)となった。

大同生命

- ・新契約高は、主力の個人定期保険が好調に推移し、1兆37億円、前年同期比13.2%の増加。
解約失効高は、7,936億円、前年同期比15.2%の減少。
- ・保有契約高は、39兆2,840億円、前年度末とほぼ同水準。
なお、主力の個人定期保険の保有契約高は、34兆9,897億円、前年度末から256億円の増加。

T & D フィナンシャル生命

- ・新契約高は、833億円。
- ・解約失効高は、1,122億円。
- ・保有契約高は、3兆904億円、前年度末から1.4%の減少。
なお、変額個人年金の保有契約高は、1,882億円、前年度末から130億円の増加。

[損益関係]

(単位：億円)

	T & Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期	前年同期比	当第1四半期	前年同期比	当第1四半期	前年同期比	当第1四半期	前年同期比
経常収益	6,915	-	3,555	1.6%増	3,115	6.8%減	309	-
うち保険料等収入	4,575	-	2,185	2.3%減	2,112	18.5%減	276	-
うち資産運用収益	876	-	471	39.2%減	424	30.1%減	26	-
経常費用	6,553	-	3,486	2.9%増	2,788	11.4%減	320	-
うち保険金等支払金	5,619	-	2,993	10.9%増	2,421	7.0%減	204	-
うち資産運用費用	181	-	170	51.3%減	55	76.6%減	1	-
経常利益	362	-	68	38.2%減	326	68.6%増	10	-
特別利益	5	-	2	469.8%増	1	222.6%増	0	-
特別損失	17	-	5	27.3%減	5	22.5%減	5	-
契約者配当準備金繰入額	92	-	31	1.5%減	59	2.5%増	1	-
四半期純利益	311	-	18	57.0%減	169	115.9%増	138	-

(注) 1. T & Dホールディングスの各数値は連結決算数値のため、生命保険会社3社の単純合算とは一致しない場合があります。

2. T & Dホールディングス連結およびT & Dフィナンシャル生命の前年同期比は、前第1四半期の数値がないため、記載を省略しております。

< T & Dホールディングス連結 >

- ・ 経常利益は、362億円となりました。
四半期純利益は、311億円となりました。
四半期純利益が太陽生命・大同生命の前第1四半期の単純合算した122億円に比べて増加したのは主に、大同生命において個人保険の死亡保険金および資産運用費用が減少したこと、ならびに当期から連結納税制度を適用したことによりT & Dフィナンシャル生命において税効果が発生したことによります。

太陽生命

- ・ 保険料等収入は、主に貯蓄性商品の保険料の減少により、2,185億円、前年同期比2.3%の減少。
- ・ 資産運用収益は、主に有価証券売却益の減少により、471億円、前年同期比39.2%の減少。
- ・ 保険金等支払金は、主に団体年金保険の解約返戻金等の増加により、2,993億円、前年同期比10.9%の増加。
- ・ 資産運用費用は、主に有価証券売却損の減少により、170億円、前年同期比51.3%の減少。
- ・ 経常利益は68億円、前年同期比38.2%の減少。
- ・ 四半期純利益は18億円、前年同期比57.0%の減少。

大同生命

- ・ 保険料等収入は、主に団体年金保険の減少により、2,112億円、前年同期比18.5%の減少。
- ・ 資産運用収益は、主に有価証券売却益の減少により、424億円、前年同期比30.1%の減少。
- ・ 保険金等支払金は、主に個人保険の死亡保険金の減少により、2,421億円、前年同期比7.0%の減少。
- ・ 資産運用費用は、主に金融派生商品費用の減少により、55億円、前年同期比76.6%の減少。
- ・ 経常利益は、326億円、前年同期比68.6%の増加。増加は主に、一般勘定の資産運用損益が改善したため。
- ・ 四半期純利益は、169億円、前年同期比115.9%の増加。

T & Dフィナンシャル生命

- ・ 保険料等収入は、276億円。資産運用収益は、26億円。
- ・ 保険金等支払金は、204億円。資産運用費用は、1億円。
- ・ 経常利益は、主に営業権の償却により、10億円。(営業権の償却は18年3月期で終了)
- ・ 四半期純利益は、138億円。
T & D保険グループは、今年度から連結納税制度を適用。四半期純利益は、連結納税制度を適用しない場合に比べ、約156億円増加。これは連結納税に係る税効果会計の適用(繰越欠損金含む)によるもの。

〔総資産〕

(単位：億円)

	T & Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減
総資産	129,574	-	63,162	933	59,481	697	6,972	149

(注) T & Dホールディングスの数値は連結決算数値のため、生命保険会社3社の単純合算とは一致していません。

< T & Dホールディングス連結 >

- ・総資産は、12兆9,574億円となりました。

〔その他の指標〕

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期	前年 同期比	当第1四半期	前年 同期比	当第1四半期	前年 同期比	当第1四半期	前年 同期比
基礎利益	312	-	79	25.5%減	244	5.9%増	10	-
逆ざや額	195	-	106	81.1%増	74	43.4%増	13	-

(注) 3社単純合算およびT & Dフィナンシャル生命の前年同期比は、前第1四半期の数値がないため、記載を省略しております。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率			842.5%	20.8ポイント低下	992.4%	42.5ポイント低下	1,489.2%	504.4ポイント上昇
実質純資産	10,283	907	3,853	665	5,978	346	451	105

< 3社単純合算 >

- ・基礎利益は、312億円となりました。
- ・逆ざや額は、195億円となりました。
- ・実質純資産は、1兆283億円となり、前年度末から907億円減少しております。

太陽生命

- ・基礎利益は、79億円、前年同期比25.5%の減少。
逆ざや額は、106億円、前年同期比81.1%の増加。
これらは主に、昨年実施した住宅ローン証券化に伴う譲渡益の特殊要因が無くなったことによるが、同要因を考慮しないベースで比較した場合、基礎利益は実質25億円増加、逆ざや額は4億円減少したことによる。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、842.5%、前年度末から20.8ポイントの低下。
実質純資産は、3,853億円、前年度末から665億円の減少。
これらは主に、その他有価証券の評価差額が減少したことによる。

大同生命

- ・基礎利益は、主に個人保険の死亡保険金の減少により、244億円、前年同期比5.9%の増加。
- ・逆ざや額は、74億円、前年同期比43.4%の増加。これは主に、平均予定利率の低下による予定利息負担が減少した一方で、前年同期の関連会社からの臨時配当が当期はなかったため、利息及び配当金等収入が減少したことによる。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、992.4%、前年度末から42.5ポイントの低下。これは主に、資産運用リスクの増加による。
実質純資産は、5,978億円、前年度末から346億円の減少。これは主に、金利上昇などにより有価証券差損益が減少したことによる。

T & Dフィナンシャル生命

- ・基礎利益は、10億円。逆ざや額は、13億円。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、1,489.2%、前年度末から504.4ポイントの上昇。
実質純資産は、451億円、前年度末から105億円の増加。
これらは主に、連結納税に係る税効果会計の適用による。

[差損益関係]

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減	当第1四半期末	前年度末 比較増減
有価証券差損益	3,040	1,219	992	696	2,074	480	26	43
うち公社債	253	740	284	420	555	293	17	26
うち株式	2,454	76	1,195	125	1,258	48	0	0
うち外国証券	7	483	48	369	26	107	14	6
土地等の差損益	213	0	90	-	123	0	-	-

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。また、金銭の信託内で保有する有価証券のうち、売買目的有価証券以外のものの差損益を含めて記載しております。

2. 太陽生命及び大同生命の有価証券差損益には、親会社株式の差損益が含まれております。

3. 太陽生命の有価証券差損益の前年度末比較増減は、内外株式の時価および外貨建資産の為替を、前年度末は平成16年3月度の月中平均、当第1四半期末は期末時点により算出しております。

4. 太陽生命の土地等の差損益は、公示価格等をもとに算出しております。

5. 大同生命の土地等の差損益は、原則として鑑定評価額、重要性の低い物件等については公示価格をもとに算出しております。

< 3社単純合算 >

有価証券差損益は、3,040億円となり、前年度末から1,219億円減少しております。これは主に、内外金利の上昇等により、公社債および外国債券の含み益が大幅に減少したことによるものです。

太陽生命

- ・有価証券差損益は、992億円、前年度末から696億円の減少。

大同生命

- ・有価証券差損益は、2,074億円、前年度末から480億円の減少。

T & Dフィナンシャル生命

- ・有価証券差損益は、26億円、前年度末から43億円の減少。

(参考)平成17年3月期業績予想

平成16年5月19日に公表いたしました業績予想から変更はありません。
参考として、同日公表の業績予想を再掲いたします。

T & Dホールディングス

(連結)

(単位:億円)

T & Dホールディングス連結		太陽生命	大同生命	T & Dフィナンシャル生命	
経常収益	中間期	11,840	5,870 (6%減)	5,410 (10%減)	700 (34%減)
	通期	23,200	11,390 (9%減)	10,480 (12%減)	1,590 (15%減)
経常利益	中間期	420	120 (40%減)	330 (50%減)	20 (5%減)
	通期	960	240 (25%減)	760 (27%減)	40 (50%減)
当期純利益	中間期	280	30 (58%減)	130 (55%減)	130 (-)
	通期	480	60 (15%減)	310 (19%減)	110 (-)

- (注) 1. 太陽生命、大同生命、T & Dフィナンシャル生命の数値は各社単体のものです。
2. 括弧内は対前年同期比増減率であります。

(単体)

(単位:億円)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 年間配当金
中間期	80	50	50	-円
通期	260	210	220	45円

生命保険会社3社(単体)

(単位:億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T & Dフィナンシャル生命	
基礎利益	中間期	510 (28%減)	140 (44%減)	390 (19%減)	20 (13%増)
	通期	1,160 (18%減)	310 (17%減)	880 (18%減)	30 (4%増)
保険料等収入		17,570 (6%減)	7,640 (4%減)	8,590 (7%減)	1,340 (14%減)
逆ざや額		710 (51%増)	430 (42%増)	240 (85%増)	40 (前年並み)
新契約高		81,070 (7%増)	30,000 (7%増)	46,000 (7%増)	5,070 (14%増)
			うち個人定期保険	うち変額個人年金	
			44,200 (8%増)	760 (15%減)	
保有契約高		597,080 (2%増)	171,300 (7%増)	394,700 (前年並み)	31,080 (前年並み)
			うち個人定期保険	うち変額個人年金	
			354,400 (1%増)	2,460 (40%増)	
解約失効率 (%)		-	8.9 (前年並み)	8.5 (前年並み)	13.4 (2.3ポイント低下)

- (注) 1. 括弧内は対前年同期比増減率であります。
2. 新契約高、保有契約高及び解約・失効率は、個人保険と個人年金保険の合計であります。また、新契約高には転換による純増加を含みます。

実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。